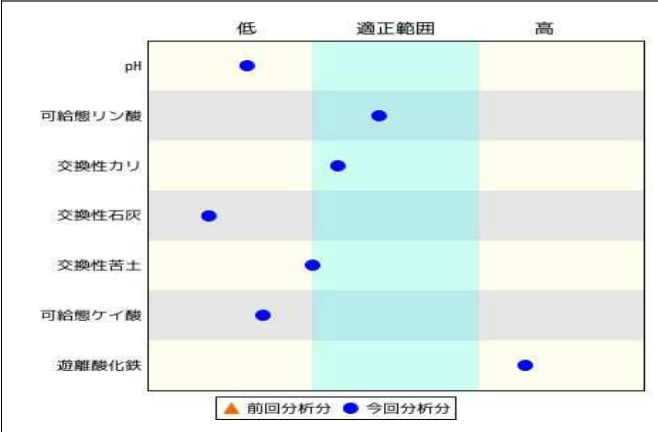


様	依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/28
	サンプルNo	8400				支店	営農センター石鳥谷

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	南関口	採土日	
作物	イネ	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類	非火山灰土壌	採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土は適正です。
- ・可給態ケイ酸が不足しています。土壌改良が必要です。このほか補給型施肥としてケイ酸を成分量として30kg/10a程度施用しましょう。
- ・遊離酸化鉄が高くなっています。
- ・石灰苦土比が低くなっています(1.8)。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です(3.0)。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.3▼低い		5.5~6.0	
EC	mS/cm	0.03			
可給態リン酸	mg/100g	18.0		10.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	23.0		20.0~40.0	
交換性石灰	mg/100g	74.0▼低い		200.0~400.0	
交換性苦土	mg/100g	30.0		30.0~60.0	
可給態ケイ酸	mg/100g	12.0▼低い		15.0~25.0	
遊離酸化鉄	%	1.7▲高い		0.8~1.5	
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		*			
塩基飽和度		*			
Ca/Mg 比		1.8			
Mg/K 比		3.1			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	126.	0.0	0.0	3.0	

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壤図(農研機構:日本土壤イベントリー土壤図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・分析値が有効態ケイ酸50mg / 100gを超える場合には50mg / 100g、遊離酸化鉄6%を超える場合には6%と表示されます。(分析値上限のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)


肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粉状)	240	0.0	127.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ケイカル(粒状)	10	0.0	4.0	0.3	0.0	3.0	0.0
合計		0.0	131.	0.3	0.0	3.0	0.0
過不足		0.0	5.2	0.3	0.0	0.0	

■ コメント


- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- なお、ケイ酸は、毎年元肥として(補給型施肥分:ケイ酸成分30kg程度/10a)必要ですので、鉄分(遊離酸化鉄)が高い場合は「ケイカル(粒状)」を100kg/10a程度施用しましょう。(分析所見を参照の事)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分がないか確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粉状)



ケイカル(粒状)



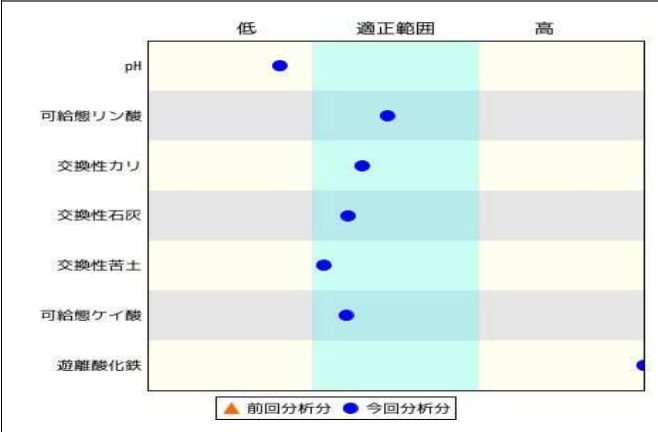
様

依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/28
サンプルNo	8401				支店	営農センター石鳥谷

■ 詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	南関口	採土日	
作物	イネ	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類	非火山灰土壌	採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰は適正です。
- ・交換性苦土は適正です。
- ・可給態ケイ酸は適正です。補給型施肥としてケイ酸を30kg/10a程度施用しましょう。
- ・遊離酸化鉄が高くなっています。
- ・石灰苦土比は適正です(5.5)。
- ・苦土加里比は適正です(2.9)。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.4 マヤや低い		5.5~6.0	
EC	mS/cm	0.05			
可給態リン酸	mg/100g	19.0		10.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	26.0		20.0~40.0	
交換性石灰	mg/100g	243		200.0~400.0	
交換性苦土	mg/100g	32.0		30.0~60.0	
可給態ケイ酸	mg/100g	17.0		15.0~25.0	
遊離酸化鉄	%	2.2 ▲高い		0.8~1.5	
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		*			
塩基飽和度		*			
Ca/Mg 比		5.4			
Mg/K 比		2.9			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壤図(農研機構:日本土壌イベントリー土壤図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・分析値が有効態ケイ酸50mg / 100gを超える場合には50mg / 100g、遊離酸化鉄6%を超える場合には6%と表示されます。(分析値上限のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
合計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
過不足		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ コメント

- ケイ酸は、毎年元肥として(補給型施肥分:ケイ酸成分30kg程度/10a)必要ですので、鉄分(遊離酸化鉄)が高い場合は「ケイカル(粒状)」を100kg/10a程度施用しましょう。(分析所見を参照の事)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分がないか確認しましょう。

■ 土づくり肥料